

令和7年度 尾道市立浦崎中学校 グランドデザイン

「学習指導要領」・「令和の日本型学校教育」

- ・個別最適な学びと協働的な学びの実現
- ・子供一人一人の学びを最大限に引き出し主体的な学びを支援する教職員
- ・主体的・対話的で深い学び
- ・社会に開かれた教育課程
- ・カリキュラム・マネジメント

「尾道教育総合推進計画」

- ・夢と志を抱き グローバル社会を生き抜く子どもの育成
- ・人生100年時代に 学び続け 活躍できる人材の育成
- ・「グローバル」「ローカル」「尾道らしさ」
- ・さくら尾道プロジェクト（ファイバリー）

広島県「教育に関する大綱」

- ・「主体的な学び」を促す教育活動の推進による、これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成
- ・一人一人の多様な個性・能力を更に生かし他者と協働しながら新たな価値を創造していくことができる力の育成

学校教育目標

『未来を生きる力を育む』

子どもたち一人ひとりが、自分の人生をしあわせに、そして希望をもって歩んでいけるよう、「未来を生きる力」を育む教育を目指します。その中心にあるのが「ウェルビーイング」の視点。心と体の健康、良好な人間関係、自分の価値を感じられること、そして社会とつながりながら成長していくこと。

育む3つの資質・能力 <めざす生徒像>

基礎的・基本的な
知識・技能

- ▶『主体性』自ら問いをもち、学び方を選び、人生を拓いていく生徒
- ▶『協働性』多様な他者と共に学び、認め合い、共により良い社会をつくる生徒
- ▶『創造性』変化を受け入れ、課題を見つけ、自分なりの解決や価値を生み出す生徒

学校経営の重点 <生徒が掲げるめざす学校像>「何事にも一生懸命に取り組むことができる学校」

研究主題「自立した学び手を育む学びの創造・充実」～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通して～

総合的な学習の時間「まなびクエスト」

「ローカル」郷土「浦崎」の生活と自然から、「グローバル」国際協働学習などにより、本物の社会に当事者として参画する学びの充実を図ります。

多様な学びの選択肢のある授業

生徒一人ひとりの特性や学習進度、学習到達度などに応じて、教材の柔軟な提供や、個別の伴走・支援により、“自立した学び手”を育成します。

「まなびスペシャル」

各界の著名な講師との出会いで社会を意識し、自らの生き方を見つめる学びを応援します。
▶小林紀子バレー・シスター
▶広島サンダーズ 他

「異文化間協働学習」

多様な国々の人々との交流を通して、国境を越えて理解しあい、協力して持続可能な社会を実現する教育を推進します。
▶English Day Urasaki
▶海外校国際協働学習

「マイプラン学習」

一部の単元において、自ら学習計画を立て、ICTの活用など多様な学習方法により、自ら調整を図りながら学びを進めます。（単元内自由進度学習）

「まなびチャレンジ」

試験期間中の6時限目は、各教科の目標達成に向けて、自分なりの計画と、自分なりの方法で学びを進め、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図ります。

生徒による自治活動の充実

生徒会行事や浦崎大運動会、音楽コンクールなどは、生徒が主体となって行事の成功をめざし、多くの生徒とともに感動を味わいながら企画・運営を実践的に学びます。

手帳による自立した学び手の育成

生活や学習における目標・計画を設計し、習慣的に見直しを図ることにより、努力を成果へとつなげ、自分に自信を持つとともに、自ら学ぶ“自立した学び手”を育成します。

<めざす教職員像>

- *自己の崇高な使命に自覚と責任をもった教職員
- *生徒一人ひとりの育ちの伴走・支援に向けて、ともに学び続ける教職員

浦崎15年連携教育「自立した学び手を育む浦崎15年連携教育」

自分に最適な学びを自分で計画・実行できる力を育むことにより、生涯を通じて「学び続ける力」を育みます。

浦崎地域学校運営協議会（コミュニティ・スクール）

保護者や地域の皆様とともに知恵を出し合い、意見を学校運営に反映させることにより、学校と地域が協働しながら、子供たちの豊かな育ちを支え「地域とともにある学校」づくりをすすめます。